

令和3年度の学校関係者評価の結果、以下のとおり報告いたします。

1、評価方法について

本校では、令和3年度の教育調査（生徒・保護者）の結果を昨年度と比較し、肯定率で分析しました。特に、以下の17点については肯定率が3%以上上がった項目と下がった項目について、検討し、評価しました。

肯定的な回答率を昨年度と比較しました。

肯定率が3%以上、上がったものは青、3%以上、下がったものは赤で示しています。

項目	内容		R2	R3
学級づくり	学校は生徒が安心・安全な学校生活を送ることができる学級づくりを行なっている。	生徒	85	79
		保護者	77	73
心の安心、コロナ対策等の安心を高められるようにしていきます。				
学習指導 適正な評価	先生は、授業で自分のことを褒めてくれたり、間違ったところを教えたりしてくれる。生徒の学力や学習の達成度を適切に評価している。	生徒	77	74
		保護者	59	60
授業での活動にも制限があり、個別対応の時間にも限りはありますが、生徒の頑張りをさらに意識して見つけていけるようにします。				
ICT 機器の活用	学校は、ICT 機器を活用した授業を行なっている。	生徒	93	93
		保護者	50	73
1人1台タブレットの活用（ロイロノート、ミライシード等の効果的な活用を今後も考えていきます。）				
道徳教育	生徒は、授業や学校での生活を通して、他者と共によりよく生きる力が育まれている。	生徒	69	69
		保護者	79	73
担任の道徳に加え、学年ごとにローテーション道徳を実施し、さまざまな角度からものごとを考え、よりよく生きる力を伸ばせるようにしていきます。				
体育・健康教育	生徒は、授業や学校での生活を通して、体力や食、生活習慣をはじめ、健康な生活を送る力が育まれている。	生徒	74	70
		保護者	75	73
保健体育の授業だけでなく、日々の給食指導では食育等にふれていきます。				
地域と共に 在る学校	授業や教育活動において地域の人材を計画的に活用している。家庭や地域と連携・協力して教育活動を行なっている。	生徒	47	45
		保護者	63	55
地域学習や先日のフォーラム21などさまざまの方にお世話になりました。企画を考えることもあります。発信もして、地域の方々の力の有難さを伝えていきたいです。				
生活指導 いじめ防止	友達や勉強のことで悩んだときに、学校に相談できる人がいる。学校はいじめや不登校等に対して、未然防止・早期発見、解決に向けて、生徒や家庭と協力して取り組んでいる。	生徒	69	70
		保護者	32	43
日ごろからの関係づくり、相談しやすい雰囲気を醸成していきます。				
安全教育	生徒は、授業や学校での生活を通して、地震や火災、事故など様々な危険を予測し、回避する力が育まれている。	生徒	78	71
		保護者	55	73

昨年度よりは避難訓練等も実際に避難する回が増えました。校長先生が頭を使った講評をしてくださるので、回避能力は高まると思います。				
特色ある教育活動	学校にはアンネのバラや朝学習など特色ある教育があり、生徒の成長により効果をもたらしている。	生徒	61	65
		保護者	69	72
今後も特色ある教育を進めていきます。				
進路指導	学校は生徒一人一人の興味関心や適性に応じて進路選択ができるように、情報を提供し、指導している。	生徒	52	58
		保護者	30	43
総合的な学習 キャリア学習	職業調べやキャリアガイダンスなどの進路学習は、生徒たちの将来の生き方を考える上で役立っている。	生徒	58	64
		保護者	44	56
1年生のころから、高校等への進学だけでなく、進むべき路、キャリアを意識させて学習しています。これからも計画的に進めていきます。				
学校行事	学校行事（体育大会、学芸発表会、修学旅行、スキー教室など）は学校生活が充実し、生徒の成長に役立っている。	生徒	74	71
		保護者	78	70
コロナ対策をしながら生徒と共に目的を達成できる行事を企画、実施していきたいです。				
部活動	学校の部活動は、そのねらい（望ましい人間関係、個性の伸長など）が達成され、生徒の成長に役立っている。	生徒	69	72
		保護者	69	68
大会や発表会が中止になったりする中ですが、目的、目標をもたせ努力させたいです。				
あいさつ	日常の学校生活を通して、あいさつが身についている。	生徒	81	85
		保護者	75	74
マスクがあっても爽やかな挨拶をしたいと思いますね。				
情報発信	学校だより、学年通信、学校ホームページなどで学校の様子がよく分かる。	生徒	60	63
		保護者	74	69
校長先生がほぼ毎日、ブログを更新しているのでそちらもご覧ください。学プリ等も有効に活用したいです。				
自己肯定感	学校生活全般を通して自分の行動が認められている。 家庭において、子どもの自己肯定感を高めることを意識している。	生徒	60	64
		保護者	73	70
コロナで活動が制限され、活躍の場面を失ってしまう生徒もいたかと思います。代替案を出したり、日常のさりげないことでも認めたりしていきたいと思います。				
新型コロナウイルス感染予防対策	学校は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じた上で、教育活動が行なわれている。	生徒	79	78
		保護者	77	83
体温カメラの設置などに感謝しています。手洗い、うがい、消毒等も継続してしっかり行います。				

2、学校評価委員会の総合所見

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染防止対策として、予定していた教育活動の中止や規模縮小をせざるを得ない状況でした。しかし、コロナ禍で生徒に一人1台タブレットの配布でICT機器の活用が進み、ICTを駆使した分かりやすい授業に取り組んでいることが授業観察から分かりました。今後もICTを活用した授業改善に期待しています。その反面、「学級づくり」や「地域と共に在る学校」の項目から生徒同志や地域の方との触れ合いが少ない現状が分かります。新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じた上で、学級や学校行事、部活動、地域との関わり機会を増やし、生徒のコミュニケーション能力を育むことに期待しています。